

◆チェックリスト(申請)◆

～組積造の塀（れんが造等）の除却補助の条件確認～

整理番号	1		資格等は不要です。 申請者自身で構いません。 施工業者等に記載を頼む場合は、 所属事務所や氏名、連絡先等が分かるもの（名刺など）の写しを添付してください。
申請者	耐震 太郎		
チェックリスト作成者	耐震 次郎 ←		
チェックリスト作成日	令和7年4月1日		
ブロック塀等所在地	福岡市中央区天神1-8-1	ブロック塀等設置後の経過年数	30 年
ブロック塀等の長さ	10.00 m	ブロック塀等の高さ	1.0～1.5 m
		(擁壁の高さ)	- m

【注意事項】

擁壁上のブロック塀等の場合は、擁壁を除く高さを記載してください。

擁壁上のブロック塀等の場合は、ブロック塀等を除いた擁壁のみの高さを記載してください。

- ・道路に面して設けられている、高さが1.0m以上のブロック塀等が補助対象となります。
本チェックリストでは、道路面からの高さが1.0m未満のブロック塀（補助対象になり得ないブロック塀等）については記載しないでください。
- ・本チェックリストにおける「道路」とは、国道、県道、市道等の、一般交通の用に供する道のことを指します。
- ・門扉や門柱によってブロック塀等が分かれている場合は、1構造ずつチェックリストを作成してください。
2つ目以降は整理番号を「2、3…」として、作成してください。
- ・本チェックリストにより、**危険なブロック塀等**とみなされたうえで、補助申請後に市の担当者のチェックをもって、補助対象のブロック塀等と認められます。
- ・補助を活用する場合、除却計画及び工事において**ブロック塀等の高さを1.0m未満にして、「チェックリスト（完了）」において補助金交付の対象として認められる状態にする必要があります。**
ただし、ブロック塀等がセットバックが必要な道路に面する場合や、高さ5.0m以上の擁壁の上のブロック塀などは、**全**

必ず注意事項を読んだうえで市に提出してください

I) 補助条件の確認

No.	内容	チェック欄
①	道路に面して設けられている、高さが1.0m以上のコンクリートブロック造以外の組積造による塀（万年塀及び門柱を除く）で、調査により著しいひび割れ又は傾き等が認められ、特に危険な状態にあるもの	✓

→「II) 安全性の確認」以降のチェックリスト（裏面）を記入してください。

該当する場合、チェックを入れて、裏面の記入に進んでください。

（以下は市の担当者の記入欄です。記載しないでください）

本チェックリストによる組積造の塀について、補助対象と認める。

担当者名 _____

◆チェックリスト(申請)◆

～組積造の塀（れんが造等）の除却補助の条件確認～

Ⅱ) 安全性の確認

No.	内容	適合	不適合
①	塀の高さは道路面から1.2m以下か。（擁壁の上の塀である場合を除く）	はい	いいえ
②	塀に傾き、ひび割れ、損傷やぐらつきはないか	「ある」を選択した場合、補助金申請時には、判断したひび割れ等の写真を提出してください	
③	塀の土留め部分の高さは1.0m以下か。（擁壁の上の塀である場合を除く）	はい	いいえ
④	塀の厚さは、その部分から壁頂までの垂直距離の10分の1以上となっているか。	はい	いいえ
⑤	塀の長さ4.00m以下ごとに、壁面からその部分における壁の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。ただし、その部分における壁の厚さが「④」のチェック内容に示す壁の厚さの、1.5倍以上ある場合においては除く。	ある	ない
⑥	擁壁の上の塀である場合、塀の高さは擁壁上端から40cm以下か	はい	いいえ
⑦	擁壁の上の塀である場合、塀の土留め部分の高さは20cm以下か。	はい	いいえ

→いずれかの項目で1つでも「不適合」がある場合は、危険なブロック塀等とみなします。（Ⅲの確認は不要です）

Ⅲ) 安全性の確認（「Ⅱ）安全性の確認」にてすべて「適合」であった場合）

No.	内容	適合	不適合
①	基礎の根入れ深さは20cm 以上か。	補助金申請にあたって本表(Ⅲ)の判断を必要とする場合は、まず市の担当者へご相談ください。必要書類の指示等を行います。	

→「不適合」である場合は、市の担当者へご相談ください。

不適合であることを示す施工時の図面の提示等により、不適合であることが確認
 みなします。